

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 1月 8 日

事業所名 放課後等デイサービス 神港園レインボー西宮

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・新型コロナの影響で一時的に場所を移している為、約40㎡と狭いが年始からは隣の空き店舗を使用予定。
	2	職員の配置数は適切である	○		・送迎は他の部署の協力を得ている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・仮設スペースではあるが、入り口にはスロープが設けられている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・毎日の申し送りにおいて、職員全体討議し、実践・振り返り・評価を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者の皆様にアンケートを依頼し、ニーズや改善点を把握している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			※手続き終了後、公開予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・西宮児童通所支援連絡会の取り組みに参加出来ていない為、第三者による外部評価などに繋がられていない。今後は参加し外部との評価を依頼し業務改善に繋げていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・施設全体での研修を実施し、参加している。また、外部研修などにも参加しスキルアップに繋げている。	・放課後等デイサービス部署内での研修を開催し、全職員が資質向上を図っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・保護者のニーズを聞き取り、また日々の様子を観察し計画書を作成している。	・児童本人へニーズの聞き取りや話をする場などが設けられていない為、今後は本人にもしっかり聞いて支援の充実を図っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・家族からの情報提供や個性をファイルにまとめている。	・アセスメントツールは使用しているが、更新が遅れることもあるため担当者など業務分担を行い更新を定期的に行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・月ごとに活動予定を職員全体で立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・集団活動の担当職員を定期的に入れ替えている。また申し送り時に改善点などを出し合っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・個別支援計画の中に利用形態に応じて課題を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・一人一人の年齢・性別・特性に合わせて個別課題や集団活動を計画し作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎朝申し送りをし、前日の様子や当日の打ち合わせをしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・基本的には翌日に申し送りを行っているが、急を要する場合や重要なことがある場合は、当日に申し送りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・当日の支援内容や気になる事項に関しては毎日記録をし、翌日の申し送り時に職員間の共有を行い、支援の検証や改善を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月ごとにモニタリングを行い、計画見直しを実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		・基本活動を複数見合わせて、日々の支援を行っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 1月 8 日

事業所名 放課後等デイサービス 神港園レインボー西宮

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加し、情報共有・意見交換を行っている。終了後、会議内容を全職員に報告している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・日々の送迎送迎や支援会議開催時に情報共有を行っており、学校との直接のやり取りが難しい場合は保護者より情報を得ている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	・現在該当する利用者はいませんが、主治医などは家族から利用者情報に記入してもらい情報は収集している。	・今後該当利用者が来られる場合は連絡体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	・就学前に支援会議が開催される場合は参加し、情報収集を行っている。開催が難しい場合は保護者を通じて情報を得ている。	・評価期間に就学前の利用者がおられなかった。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・当事業所では移行する際に支援会議など開催し情報提供できる準備はしている。	・今後移行の際は支援会議などを開催していき移行がスムーズになるよう声を掛けていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・こども未来センターや西宮市児童通所支援連絡会での紹介による研修などに参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナの感染拡大状況により臨機応変に対処していく。(感染症予防対策の徹底等)	・コロナウイルスによる影響で交流の機会を設けるのが困難だったが、今後は感染予防・対策を徹底した上で家族に説明した上で交流の機会の場を設けていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	・現在は参加していません。	・今後実施に向けた情報収集や、研修への参加を行う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時に利用者の状況を伝え、家庭での様子などを伺い情報共有を行っている。また、必要に応じて面談の機会を設けている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	・現在は行っていません。	・今後実施に向けた情報収集や、研修への参加を行う。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・見学時には支援内容の説明を行っている。また、契約時に重要事項・契約書についての説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・送迎時に保護者より状況を伺い、助言や今後の支援について伝えている。また、必要に応じて面談を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・父母会や保護者会は開催していません。	イベントや作品展の開催時に保護者を招待する機会があるため保護者会の開催を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情対応マニュアルを作成しており、契約時に苦情窓口の説明をしている。また、苦情が発生した場合は迅速な対応を心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・機関誌を作成し定期的な発信を行う。	・今後ホームページにもブログなどを更新していき情報提供を充実させていく。
	35	個人情報に十分注意している	○		・個人情報が記載されている資料は鍵付きの保管庫で保管・管理している。また、不要書類はシュレッダーを用いての破棄を行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・研修などで知識を深め、個々に合ったコミュニケーション方法を検討し実践している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・毎年施設全体で地域交流会を開催しており、こども祭り・秋祭り・餅つき大会など地域住民を交えた行事を積極的に開催している。また、自治会の方からのお誘いで地域イベントにも参加させてもらっている。	・今年は行事が多く中止されていますが、今後は感染予防対策などを徹底した上で十分に協議してから可能な行事は開催・参加していきます。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 1月 8 日

事業所名 放課後等デイサービス 神港園レインボー西宮

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・緊急時・防犯・感染症対策の各マニュアルを作成し職員に周知している。	・保護者への周知に関しては今後面談や、契約時、ホームページへの掲載を行い、マニュアルの周知徹底を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年2回の防災訓練の実施と消防署への届け出を行っている。施設全体として非常食も準備している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・社内研修を行い、知識を深めている。また、参加できない職員は報告書を確認し、情報共有を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・現在該当する利用者はいません。身体拘束の同意書を準備しており、対応可能な状態となっている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・契約時に保護者経由でアレルギーの有無を確認し、該当者のアレルギーは事前に把握し除去している。	・今後は保護者から医師の指示書入手し職員全員に周知する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・放課後等デイサービスを含めた施設全体での安全衛生委員会に参加し、各部署のヒヤリハット・事故報告を基に防止策の検討を行っている。終了後は報告書・分析書を作成し、全職員への周知を徹底している。	